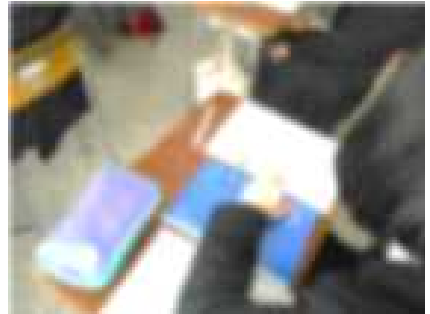


夢 限 大

R 3 年 1 0 月 2 8 日
 仙 台 青 陵 中 等 教 育 学 校
 2 学 年 通 信 No. 1 9

将来を見据えて。。。。。



10/23(土)の土曜学習会が大盛況のもと行われました。「土学」の内容は、西川先生による、「大学入試問題にチャレンジしよう」というものでした。約50名の参加者が集まり、グループで話し合いをしながら、大学入試問題に取り組んでいました。西川先生から正解を発表される場面では、「やった〜!」と素直に喜びを表現する人がたくさんいて、将来受けるであろう、大学入試に対し手応えも感じているようでした。

昨年度までは「自学」という形で土曜学習会を開催していましたが、今年度は、学習状況調査や定期考査の対策のための補充学習や、今回のように大学入試にチャレンジできる発展的な内容の講習を開いています。先生方も、皆さんの将来を応援するために、時間をかけて準備しています。ぜひ、積極的に参加して自分の思い描く未来への足がかりにしてみてください。

凡事徹底

制服が「夏服」から「冬服」に変わり、最近、廊下や教室で制服の着こなしに関して先生方から声掛けされている人をよく見かけます。そのような人たちを見ていると、先生たちはなんとなく心がざわざわします。今みなさんがここにいるのは小学生時代に自分を律し、つらいことにも立ち向かい夢を追ってきたからだと思います。入学当初は、学校のルールを遵守し、きちんと生活しようという意識にあふれていました。しかし今のみなさんはどうでしょうか？制服の着方、あいさつ、授業の準備、定時着席、提出物、掃除の仕方、そして家庭での学習状況。青陵の生活にも慣れ、だいぶ緩みも出てきているのではないのでしょうか。生活の中で当たり前なことを誰よりも当たり前にならすこと。このことを「凡事徹底」といいます。今、定期考査の成績上位の人たちは、先に書いた準備や着席、制服の着こなし等きちんとできているなあと感じます。下に書いた藤本さんの言葉にもあるとおり、まずは形を整えてみてください。きっと心も整い、生活がすばらしいものになるはずですよ。

円福寺愛育園理事長
 藤本幸邦 (フジモトコウホウ)

上野駅で出会った3人の戦災孤児を引き取って、以来40数年恵まれない子供たちの養育に身を捧げてくる。この間に400人以上の子供たちが愛育園を巣立っていき、いまでも、45人の子供たちを養育。その教育理念は、若き日に立てた「世のため人のために尽くす」という請願から始まり、それはやがて「はきものをそろえる」という実践哲学に結実。

藤本氏によれば、「人間が人間として修行していくには、心から修行する方法と、形から修行する2つの方法があり自分で心のほうから修行できる人は、余程できた人です。しかし私達のような凡人は、形のほうから入っていくと、心のほうも整ってくるものなのです。」と言う。

「はきものをそろえる」
 藤本幸邦

はきものをそろえると心もそろ
 う
 心がそろうとはきものもそろ
 う
 ぬぐどきにそろえておくと
 はくどきに心がみだれない
 だれかがみだしておいたら
 だまってそろえておいてあげよう
 そうすればきっと
 世界中の人の心もそろってしま
 う